

●週刊ニュース 900号の企画 募集 本号で899号を迎えました。いよいよ次週は記念すべき900号になります。時間はあまりありませんが、よい企画があれば読者の皆さんからお教えいただきたいと思っております。おもしろい提案をお待ちしています。

●竹蛇籠製作講習会 10月16・17日の成果 講習にかなり時間をさきましたが5本と6本の計11本を製作、合計51本に到達できました。特に16日は16人もご参集いただいたので、製作のためには効率が上がりませんが普及活動に力が入りました。17日は諸氏が午後からご都合があって午前中の作業のみの取組みになりましたが、これまでになく能率が上がり2時間余りで6本も製作できました。本当にすごい技術力アップとなりました。この調子でいくと本気になって製作できれば、10月の予定日が残り4日なので21本の製作は予定通りに製作できてしまうこととなります。いよいよ2021年度の蛇籠製作講習会も残り4回で最終回を迎えることとなります。17日は京都府亀岡市から保津川漁協のお二人にご参加いただきました。

次回23日には京大から外国の方が参加希望されていますので語学力も必要になるようです。みなさんの一層のご協力をお願い致します。

#### ●竹蛇籠製作場所について

これまで何年か竹蛇籠の製作に使ってきました場所で、10月初めに焚火の跡が発見されました。これまでここは全く火の気のないよう注意深く製作を行ってきましたが、予想もしない焚火跡が発見され、製作した蛇籠に火が移るとお大事故が発生して府道の通行にも支障が出ると予想されます。それで場所を管理している京都府の土木事務所に対して道路の一時使用届を出すと、カルバートの部分に対して通行止めにしてはとの指導をいただいたので、東西の入り口に看板を設置して通行止めにしました。

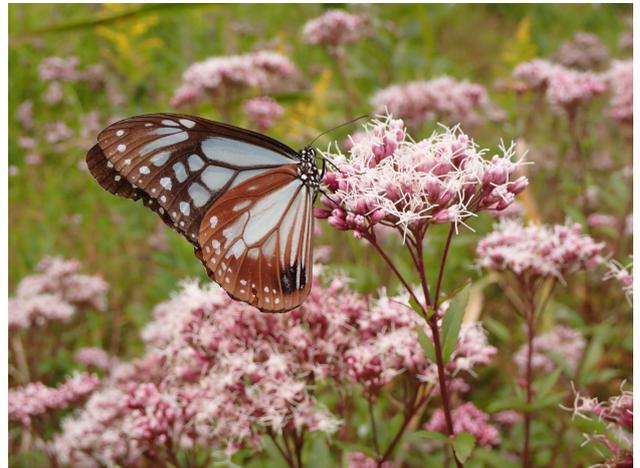
#### ●農園にアサギマダラが飛来

蝶の仲間で2000km以上移動するといわれているアサギマダラが里山農園のフジバカマの花に飛来してきました。10月19日の午前中のことです。このフジバカマは数年前に3株(園芸種)を里山農園に移植をしておいたものが、自然に30株ほどに増えて開花したものです。19日の朝から金田さんが、アサギマダラが吸蜜中のところを発見されました。なかなか人なつきがよくて近づくと飛び上がるのですが、すぐに同じ花のところに戻ってくれて写真撮影に協力してくれたとのこと。近くで農園を運営されている野村さんや大植さんのお話だと、今年すでに8匹を確認したとか、同日に3匹が飛来してきたということです。里山の会ではかつて桜谷先生の案内でビワコバレイにはアサギマダラが飛来するヨツバヒヨドリが自生しているからと案内をいただき見学に行きました。その時マーキングをしておく、飛来先で見つかる、と連絡が来るかもしれないと教えていただきました。普通、一般的に見たりしているチョウチョは、ひらひらと舞い強い風が吹くと飛んでいられないように見えるのが普通だと思っていたのですが、アサギマダラは海を越えて台湾などへも飛来して行くことで大変驚きでした。渡りをする鳥は強い羽根を持っているものとの観点からすると、このチョウチョの翅(はね)はそんなに強いものと思えず、大海原を飛ぶなどと想像もできないことでした。想像もできないことをやってしまうアサギマダラがこの里山農園にもやってきているのです。

●10月31日の日曜日の午後から京都市伏見区の日野野外活動施設で京の川の恵みを活かす会主催の「食味会」が開催されます。桂川、宇治川、木津川などで採れた川魚を刺身や焼き魚、つくだ煮などいろいろ手を加えて味わう取組で、淡水魚に関わる漁師さんや研究者、加工して販売されている現職のお店屋さんらが腕を振るってサービスをされます。川に親しむ皆さんが一堂に集まって三々五々交流を深められる、年に一回の集いで、例年は150人以上集まってこられる大変にぎやかで交流を深められる取組です。

今年は竹門康弘先生から。焼き魚をするための炭を里山の会に注文をいただきました。大いに木炭の宣伝をしたいものです。また中聖牛の設置を行って魚を増やす取組も行っている木津川の紹介も兼ねて、大勢の皆さんで、ぜひお越しくださいと案内が来ています。現在のところ大村理事長を始め、播川さん、有田さんの理事をはじめ大人は6人、子ども6~7人合計15人のほどが参加予定をしています。参加人数には制限がありませんので、希望者はこぞってご連絡をください。

●これに先立って10月24日（日曜日）午前10時から「京の川の恵みを活かす会」主催のフォーラムが京都市左京区の教育文化センターで開催されます。京都府下各地の川で活躍されている漁業組合や、大阪湾の漁業の現状などと合わせて、各河川の活動報告が予定されています。木津川からは有田理事が竹蛇籠の取組みと中聖牛設置の報告をする予定です。今、懸命にその報告をパワーポイントで行うために大奮闘していただいています。



金田さん撮影のフジバカマとアサギマダラ